



**CD録音が5月6日に決定！2本録りで
内容は「ザ・大分県と今までの集大成」**

5月6日に録音決定！全国版CD第2弾が発売される事になりました。たいへんありがたい事です。5月6日曜日の午後1時～5時の4時間でその収録をする事にしました。会場は大分市のコンバルホールの4Fの大会議室です。テーマは「ザ・大分県」です。大分のネタをしゃべり、今までしゃべったネタも入れて収録したいと思っております。そもそもこの話は、私の大家である従兄弟（高砂ビル社長）が、以前このビルの店舗として入っていた元ポリドールレコード大分営業所の所長さんの前田さんに、私のCD（自費出版）を送つてくれた所、興味を持つてもらい一昨年の発売の運びとなつたのです。何とか一万枚に手が届く見込みとなり、今回二枚目発売の見通しとなりました。当日会場の入場は無料ですが、どうぞ足をお運びくださいませ。皆さまの笑い声がCDに収録されますので、一人でも多くの方に来て頂き、笑つて頂ければと思つております。是非お出かけ下さいませ。



友人の会3300人の会
現在300名突破



第 2 号
平成24年4月1日
発行:矢野大和事務所
発行責任者:矢野大和

「セーノ」に連載始まる



第1期、第2期 合同懇親会



話し方教室 第1期、第2期メンバー

【大分合同新聞社主催 話し方教室】
の教室生が20名を超えてました。そこで全員で交流会を持ちました。第一期生6名 第二期生2会場で8名と7名の計15名、計21名の方々が一堂に会して懇親会をし大いに盛り上がり大喜び。皆さん自己紹介も慣れたもので、趣向をこらした(?)自己紹介に大受けでした。私が口演先で貰ってきた焼酎をビンゴゲームの景品に出すと、大いに盛り上がり、期を超えた交流ができたようでした。その勢いに乗り第3期生も6名募集する事になりました。

私に「本を書きませんか?」と声を掛けてくれたのは、忘れる事が出来ない恩人、堀内君という家の光協会の図書部の方でした。「家の光」と聞いた

「家の光協会」様
ありがとうございます。



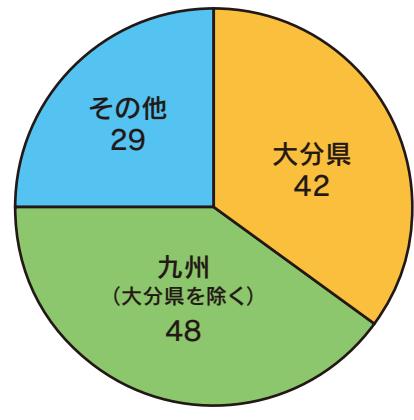
時に私はどこかの宗教団体かと思つていましたが、そうではありませんでした。読者層が農家を中心としている老舗の出版社だということが分かりました。それ以来「笑つて元気」という本を3シリーズ出させて頂いて、本当に迷惑を掛けています。お陰様で在庫も、だいぶ少なくなつてゐるらしいです。その理由は農協の女性部（農家の女性達で構成）が総会や研修会で講師が必要らしくて家の光の方々が私を推薦してくれて、各地で口演会をした時に書籍を売らせて頂いているからです。1月～3月も千葉県松戸市、大阪府茨木市、岐阜県高山市と九州に住んでいると滅多にいけない所を世話して頂いています。本当に感謝に堪えません。続々「笑つて元気」という本がすべて売れたらまた本を書かせて下さいませ。またその御縁で、作家を紹介してくださりと言わせて三人程紹介させていただき、そのうちの二人は本が出版出来たのです。こんなに嬉しい事はありません。本を書きたい方は、ぜひ、御一報くださいませ。

**ブログに書けない
こじだけの話**

私の仕事のスケジュールを管理してくれているのがスタッフ「〇」。優秀でおほめの御言葉を良く頂く。相手の提示する口演料があまりにも高いとこちらから値切つてあげる程に、相手の事を良く考えるマネージャーで、わざわざ会いに来られる方もいらっしゃる。

さて2月に岐阜県高山市にお邪魔した際「〇」が滅多にない事が信じられないミスをした。今はもう時効だから笑い晰であるが、福岡空港から名古屋空港、バスで名古屋駅それからJR高山線で岐阜を経由し飛騨高山に行く。午後10時前には到着するルートを設定してくれていた。名古屋空港からバスで名古屋駅まで30分位、最終の特急で飛騨高山へ。楽しい旅の予定だった。所が愛知県には名古屋小牧空港と中部国際空港の二つの空港があり、「〇」が私にくれていたタイムテーブルは小牧空港発。チケットは中部国際空港到着。私は小牧空港に降りているものとばかり思つてるので、当然「〇」の指示通り名古屋駅行きのバスを探す。しかしバス停がかなり遠い。おまけに誰もいないせいか『すごく麗麗』乗客が足早に駅へと向かっている。バスの前に電車は無かつたはず!と思いつながらあきらめずバス停を探す。スタッフに尋ねてみると「名古屋駅行きのバスはありませんよ」とつれない返事。駅に行くなら名鉄電車で行つてください。慌てて掛け乗つたその電車が人身事故で立ち往生。泣きつ面に蜂とはこのこと!ようやく名古屋駅までたどりついたが、最終の特急に間に合わず、各駅停車を乗り継いで最終目的の飛騨高山へ到着したのは夜中の1時前。何と4時間もかかってしまった。次の日の口演は午後からだったので何とかゆとりがあつたが苦しい思い出の旅になってしまった。空港はしっかりと確認したものである。

1月～3月までの 120回の分析



日演数 平成24年1月から3月

1月から3月までの公演回数が出たので載せてみます。4月から6月までは毎年本当に少ないので、1月から3月まで回数を稼がないと400回を超す事は出来ません。ありがたい事に超す事は出来ません。ありがたい事に119回もあつたようです。ひとまず安心です。呼んで頂いた方々に感謝、感謝です。いちばん遠いのは仙台市。それから千葉県松戸市、白井市、そして岐阜県高山市と続きます。後は西日本を中心に九州の方々が呼んでくれています。4月から6月は、この半分の50回が取れれば本当にありがたい。「ザ・がまん」の月なのです。この三ヶ月間だけ見ると、昨年を上回る事が出来たのは本当にうれしい限りです。このペースが続くように頑張りたいと思います。

地元、字目で口演

全国をすべて回りたいと思つて始めた口演活動も、宇田町觀光大使就任から数えて、今年で十一年目となる。それ以前にも、落語の会をおとして大分県内を口演していたので、全てを合わせると四千回にはなつてゐると思う。その過去の軌跡を今一度振り返り、検証してみたいと思う。北海道、間違いなく行つてゐる。札幌市の生涯学習課、そして北海道庁上川支所旭川市に二回、愛別町、計五ヶ所ほどお世話になつてゐる。沖縄県は三回行つてゐる。那覇市に二回、西原町に一回、計三回よんでいただいる。北海道と沖縄にも友人の会を作りたいのですが、なかなかできないのが現状ですね。

地元、佐伯市からの依頼が増えました。しゃべる人間にとつていちばん嫌な事は、知っている人の前でしゃべる事です。口演はやはり、いい事を言わなければならぬ。聞いている人を、満足させなければならぬ。わかりやすく言うと、「さすが!」「あいつ頭いいじゃん」などと思われたい欲があるために、知らない人の前でしゃべる方が楽なのです。ところが、今年の一月から三月は、地元の佐伯、特に私のふるさと宇日の口演が二本もあつたのです。ひとつは高齢者教室、もうひとつ

北海道から沖縄

はNPO法人宇都まちづくり協議会の発足総会での口演です。田舎の幸福論をテーマに話をさせて頂きました。これは、はつきり言って緊張しました。しかし、やはり、地元から呼ばれるのはありがたいことです。



ちんこだんご

もうひとつ役職が増えました。今年の1月から「県南落語組合」の会長になりました。泥元会長のお陰で28年も続いたこの会をもっと長続きさせるためにはどうしたらよいのか、本当に大変な事と思いますが、ありがたい事に17名の仲間があります。彼らがしつかりしているので、なんとかやれるかなと思っています。私も毎年秋に行われる「県南寄席」で一席落語をしなければならなくなりました。たいへんな事でござります。

友人を紹介してください

「3300人の友人の会」を実現するため、貴方の友人を一人紹介してくださいませ。お陰様で約300人と目標の一割に近づきました。本当にありがとうございました。昨年11月からはじめて、まだ半年もたたないにもう一割です。でももつと加速度的に増やしたいので皆さんのお友人を紹介して下さい。出来たら皆さんの住んでいる町の隣の町（合併前に隣町ならOK）で一人作ってくれたらこの新聞を送らせて頂きます。はつきり言つてどれくらい出来るかわからなかつたのですが、市町村で数えたら約100市町村はあるかと思います。皆さんのご協力お願ひ致します。

県南落語組合

<http://yanotaiwa.com/>

お宮の話（その一）



第1号にて大分合同新聞の記事に載った、私が奉職をしている「鷹鳥屋神社」の記事が結構仲間の皆さまの心を打つたようでお参りをして下さつている方がたくさんいたのに驚いた。感謝に堪えません。

それで今回はそのお宮を支えている方々を紹介をさせて下さいませ。お宮は元来国の土地を、宗教法人であるお宮が借りて、宗教活動をしています。皆さんのお近くにある、氏神様と呼ばれている神社も一つ一つ独立した宗教法人なのです。「法人」という事は「人」と同じです。利益を出すことでお金をもらっている所もあるはずですが、「法人」になるためには登記しなければ

いらっしゃる」という規約により私がさせて頂いているのです。どこのお宮も登記をしていてその代表は宮司さんなのです。では残り3名の責任役員は誰かと言うと、鷹鳥屋神社では総代さんの中から3名を選任させて頂いています。総代とは宮司を助けて祭祀や運営をボランティアで助けてくれる敬神崇祖の志ある方々で、名誉職なのです。ありがたい事に我が町宇目町にはこのような方がいらっしゃるのです。田原地区の総代・野田明さん、上津小野地区の総代・小野幸一郎さん、中津留地区の総代・甲斐義久さん、の方々です。

田原地区からも総代さんになつて頂いていて、鷹鳥屋神社では14名の総代さんと、会計さんそして鍵取さん、計16名です。総代とは宮司を助けて祭祀や運営をボランティアで助けてくれる敬神崇祖の志ある方々で、名誉職なのです。ありがたい事に我が町宇目町にはこのような方がいらっしゃるのです。田原地区の総代・野田明さん、上津小野地区の総代・小野幸一郎さん、中津留地区の総代・甲斐義久さん、の方々です。

田原地元出身で、元町議会議員をしていました。田畠、山の仕事をされていました。美味しいお米を作る事で有名ですべてのお米があつという間に売れて行きます。たいへんなお世話やきさんで地区にとつてもなくてはならない人なのです。

▼野田明さん（総代長）

名で色々な行事をやっているのです。皆さん、本当に人格の素晴らしい方々で、力も、信用も無い宮司を助けて頂いて、お宮を守つてくれています。紙面を借りてお礼申しあげます。

田原地元出身で、元町議会議員をしていました。田畠、山の仕事をされていました。美味しいお米を作る事で有名ですべてのお米があつという間に売れて行きます。たいへんなお世話やきさんで地区にとつてもなくてはならない人なのです。

▼甲斐義久さん（副総代長）

私の同級生のお父さんで私はとても良くしてもらっています。総代さんになつてもらい、副総代としていつも皆さんをまとめてもらっています。この方も山の仕事（特にしいたけ）をされています。

▼甲斐義久さん（副総代長）

私の同級生のお父さんで私はとても良くしてもらっています。総代さんになつてもらい、副総代としていつも皆さんをまとめてもらっています。この方も山の仕事（特にしいたけ）をされています。

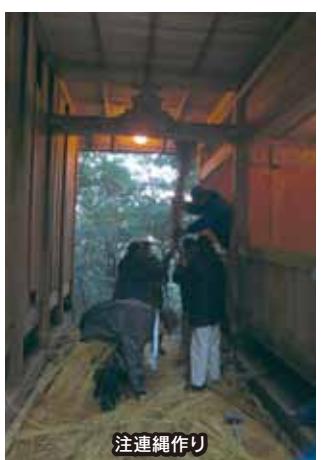
知る人ぞ知る名和牛を育てるプロ

牛はその姿や肉付きから常にトップで落札されるという程の名牛を育てられる方です。

他の方々も順次紹介させて頂きます。私が奉職しているお宮には他のお宮と違う、「鍵取りさん」という役職があります。やはり矢野さんといつて私の家とは家親類（遠戚）にあたり、何代もお付き合いをさせて頂いています。この二人がそろわないと「神事」が出来ない状況で切つても切れない関係なのです。この方も宇目町の議員さんを何期もされた方で今私の仕事の変わりをやつてくれています。とても声が綺麗で、私よりも祝詞を読むのが上手なのですよ。1月1日に元旦祭を行い、3月18日7月18日9月18日12月18日、それそれに祭を行つて、各地区代表の総代さん方と、全地区の無病息災を祈つてゐるのです。10月号に椿原祭典のこと書こうと思つてゐます。これは、各地区的総代さんと区長さんを中心には、祭典執行委員会を作り、鷹鳥屋神社の一大イベントとなる神幸祭です。この祭りを維持していくのが本当に大変なのです。今度書かせて頂きます。



完成した注連縄



注連縄作り